学校番号	416

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会人としての政治的教養を育むため、現代の政治経済の動向について関心をもたせる。多面的な観点から捉えた資料を比較分析して、自ら考察判断できるようにすることがより重要となっている。歴史的な背景・理論は、教科書・資料プリントにより理解を図る。定期考査前には学習確認課題を提示し復習・定着を図る。今起こっているコロナウイルスによるパンデミックなどに関連し、過去の事例に学ぶべきものにも注目する。

2　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深めさせ，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解させるとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治，経済，国際関係に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	現代の政治，経済，国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし，その本質や特質，望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断する。	現代の政治，経済，国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用するとともに，追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代の政治，経済，国際関係に関する基本的な事柄や，本質，特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の国際経済	・自由貿易と保護貿易、国際収支 ・外国為替市場 ・戦後国際経済の動向 ・発展途上国の諸課題、グローバリゼーション	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:グローバリゼーションが進み、各経済主体にどのような影響を与えたかについて関心を持ち、意欲的に探究している。 b:自由貿易と保護貿易の長所短所を多面的多角的に考察し、現実の貿易問題と関連付けている。国際経済の歴史学習を通して、各経済主体がその時点ごとに行った意思決定の背景や及ぼした影響を多面的多角的に考察している。 c: 現代の国際経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめている。 d: 貿易政策、国際収支表の見方、為替レート、戦後国際経済の歴史について理解し、その知識を身につけている。	レポート ワークシート 定期考査
	現代経済のしくみ	・経済体制 ・経済主体と市場のはたらき ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割、日本銀行の役割 ・財政の役割と租税、日本の財政の課題	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:経済の諸理論に関心をもち、現実の経済的事象を理論的に捉えながら探究している。 b: 経済主体間の経済循環、金融や財政の基本的知識をもとに、経済成長や現実の金融・財政問題について多面的多角的に考察し主体的に判断をしている。 c:統計資料などを収集し、有用な情報を選択して内容を読み取り、図表などにまとめている。そのうえで、客観的に課題を分析し、解決策を表現している。 d: 資本主義のしくみ、市場原理、経済成長、金融、財政に関する基本的理論を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後から現代に至る日本経済の歴史、日本経済の変容 ・中小企業と農業、消費者問題 ・労働者の権利、労働問題 ・公害防止と環境保全、社会保障の役割	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題について関心をもち意欲的に探究している。 b:戦後日本経済の歴史を多面的多角的に考察し、日本経済の変容点を考察し主体的に判断している。 c:白書や統計資料などを用いて、消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題のデータを収集して読み取り、図表などにまとめている。そのうえで、客観的に課題を分析し、解決策を表現している。 d: 日本経済の歴史と現状と課題について理解し、その知識を身につけている。	レポート ワークシート 定期考査
2学期	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・第二次大戦後の国際政治、冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 国家間の対立、民族紛争といった国際紛争の諸要因に関心をもち意欲的に探究している。 b: 国際政治の歴史学習を通して、各国家がその時点ごとに行った意思決定の背景や及ぼした影響を多面的多角的に考察している。 c: 資料を用いて、諸課題の要点を整理し、理論と現実のギャップを多面的多角的に考察し、現実課題の解決策を表現している。 d: 集団安全保障、国際連合のしくみ、国際法、国際政治の歴史、国際社会の諸課題について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
	現代経済のしくみ	・経済体制 ・経済主体と市場のはたらき ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割、日本銀行の役割 ・財政の役割と租税、日本の財政の課題	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:経済の諸理論に関心をもち、現実の経済的事象を理論的に捉えながら探究している。 b: 経済主体間の経済循環、金融や財政の基本的知識をもとに、経済成長や現実の金融・財政問題について多面的多角的に考察し主体的に判断をしている。 c:統計資料などを収集し、有用な情報を選択して内容を読み取り、図表などにまとめている。そのうえで、客観的に課題を分析し、解決策を表現している。 d: 資本主義のしくみ、市場原理、経済成長、金融、財政に関する基本的理論を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後から現代に至る日本経済の歴史、日本経済の変容 ・中小企業と農業、消費者問題 ・労働者の権利、労働問題 ・公害防止と環境保全、社会保障の役割	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題について関心をもち意欲的に探究している。 b:戦後日本経済の歴史を多面的多角的に考察し、日本経済の変容点を考察し主体的に判断している。 c:白書や統計資料などを用いて、消費者問題、労働問題、環境問題、社会保障など、国民生活に直結する課題のデータを収集して読み取り、図表などにまとめている。そのうえで、客観的に課題を分析し、解決策を表現している。 d: 日本経済の歴史と現状と課題について理解し、その知識を身につけている。	レポート ワークシート 定期考査
3学期	現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理、しくみと課題 ・世界の政治制度	○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a:社会契約説の学習をふまえ、民主政治の意義と課題に関心をもち意欲的に追究している。 b: 西洋で発達した民主主義の原理と、日本の政治機構の仕組みとの関連を考察している。 c:資料を収集・選択し、主要国の政治制度と日本の政治制度とを、比較しながら考察して図表などにまとめている。 d:社会契約説を体系的に理解し、民主政治の基本原理を理解し、世界の政治制度を比較系統的に理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。